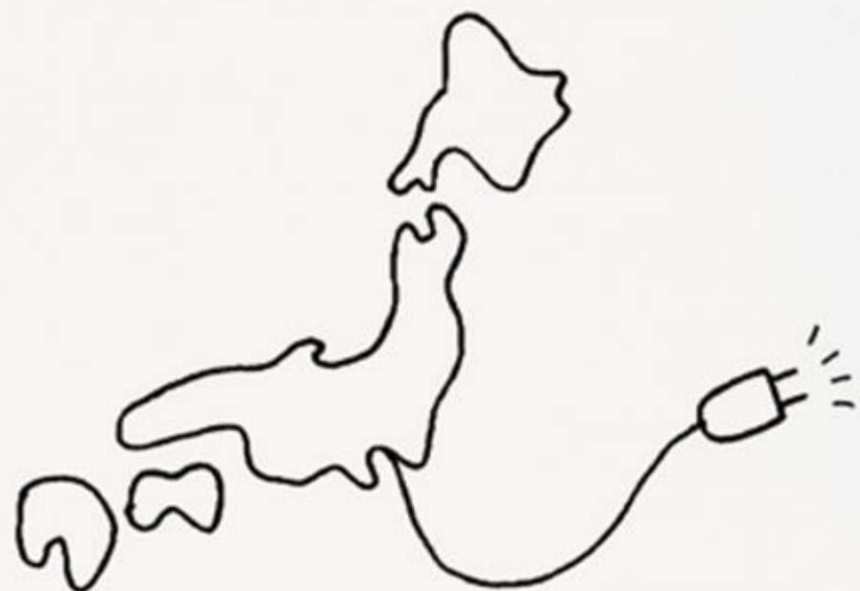


真っ暗になって、  
見えてきた。  
日本のエネルギー問題。



私たちの暮らしとエネルギー、どうなるでしょう？  
岩間先生、教えてください。

夜中におなかが空いたとき、おにぎりを買うことができる。  
そんな私たちの便利な生活を支えているのは、  
電気や石油といった膨大な量のエネルギーです。

「資源エネルギー論」では資源やエネルギーという観点から私たちの  
生活や経済について考えてゆきます。日本は世界有数の経済大国であり、  
世界有数の資源輸入国です。石油や天然ガスなど、そのほとんどを輸入に  
頼っている現状にあります。3.11の東日本大震災以後、  
エネルギーをめぐるさまざまな問題が明らかになってきました。

日本は改めて、エネルギーについて考え直す必要に迫られています。  
私たち自身もこれまでとは違って、  
エネルギーのあり方に積極的に関心を持ち続けること。  
その先に日本のこれからの生活のかたちが見えてくるはずです。



経済学  
教授 岩間剛一



現代人間学部

小田急線鶴川駅から

表現学部

徒歩約15分

経済経営学部

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学